

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツとまなびのひろばSAIYO		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 4日		～ 2024年 12月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年2月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が日頃のしんどさを発散することができる場となっている	・「学校の7時間目にならない」を心がけています。 ・人にけがをさせる、自分が傷つくことには注意をするが、子ども達が思いを吐き出し、明日も頑張ろうと思えるようなかわりを意識しています。	・安心できる場所として指導員間での意思統一を行っていきます。
2	グループ内の他事業所とミーティングを行い、子ども達が楽しめる療育を企画、立案できている	・ミーティングによりグループ内の他事業所のやっていることを参考にしたり、困った時に相談することができます。	・会社全体とする研修だけでなく、個人がスキルアップできるような研修体制を充実していきます。
3	保護者の不安や悩みを真摯に受け止め、一緒に考えることができる職員がいる	・心理担当職員を中心に保護者支援を行い、保護者の思いに寄り添い、指導員間にも共有を行っています。	・得意を伸ばすこと、できなかったことを指導員のかかわりでできた、変化したことを中心に保護者に伝え、一緒に考え、一緒に取り組む姿勢を続けていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員間での情報共有が不十分であり、改善の余地がある	・職員の出勤時間や送迎体制から決まった時間に全員集合してミーティングを行うことが難しい。 ・スムーズな連絡体制を作ることができていない。 ・個々のスタッフに依存し、全体で考えることができていないこと	・決まった時間にミーティングを実施し、継続していく。その場にはいない職員にも伝えるためのツールを用意する。 ・意見を出しやすい雰囲気づくりを行っています。
2	・防犯面、送迎時などの安全対策が十分にとれていないことがある	・保護者へのマニュアルの周知が十分ではない。 ・送迎体制の都合で複数での送迎対応が難しいことがある。	・可能な限り複数体制で送迎を行います。 ・書面もしくはデータで保護者にもマニュアルを周知できるようにし、見直しを行います。
3	保護者同士の交流の機会やきょうだい同士の交流の機会が持てないと保護者アンケートの結果に出ている	・夏祭りや保護者参観で機会を持っているが、案内の時点で保護者やきょうだいの交流の場としても考えていることを周知できていない。	・ペアレントプログラムの実施は難しいが、夏祭りや保護者参観の目的を案内に記載し、周知していきます。また、実施後にも通信やInstagramなどを利用して報告し、交流できる機会、場があることを周知していきます。